



「Architectures of Violence」(2023)より najim bigou-fathi & soto labor によるパフォーマンス『Frsh (recherche d'objet dans une poche)』の様子
©Mariana Machado

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス ヴィジティング・フェローによるトーク

暴力——自己防衛のための芸術的戦略についての考察

2024年12月2日(月) 19:00-20:30 / 森下スタジオ(江東区森下 3-5-6) / 参加費無料

2024年10月に現代舞台芸術フェスティバル「Festival Belluard Bollwerk」(スイス・フリブール)のディレクターに就任した、エリザ・リープシュ氏によるトーク。

「私たちは日々、不可解な形の見えない暴力や想像を絶する恐怖に直面しています。現代は、資本主義的なネクロポリティクスが私たちの身体の生死を規定している時代です。セゾン文化財団でのレジデンスの一環として、土地、国家、国境、健康(を管理する権力)、ジェンダー、家族、国家、警察、ファシズム、ナラティブといった枠組みにおける暴力と、その展開に関するキュラトリアル・リサーチをおこないます。

私たちの身体、環境、テクノロジー、官僚主義、規範、ナラティブなどを通じて暴力を経験し続けるとき、私たちはどのように暴力と関わり、反応し、考察することができるのでしょうか。暴力はどのようなファンタジーを生み出すのでしょうか。また、時間が経っても解放や救済が得られないとき、私たちはどのような創造や表現をおこなうことができるのでしょうか。そして、自己防衛と抵抗の芸術的戦略とはどのようなものなのでしょうか。

ブリュッセルのBeursschouwburgでは「Architectures of Violence. 3 days on borders, fences and hijacking public space」や「In Harm's Way. A conversation about sexual violence, self-defense and artistic strategies」を企画しました。国境を越えた連帯と一時的なコミュニティの空間構築のためのツールとしてアートを理解し、共有し、つながりを創り出すために、私のこれまでの芸術的リサーチと共同キュレーションの実践についてお話しします。(エリザ・リープシュ)

■申込方法: 以下の Google フォームからお申し込みください。(定員 15 名)

Google Form: <https://forms.gle/7aPYeC9AVt1YhCaB6>

後日、アーカイブ映像を限定公開で配信いたしますので、ご希望の方は上記のフォームからお申し込みください。

■滞在内容やプロフィール: 以下のリンクをご参照ください。

https://www.saison.or.jp/vf2024_eisaliepsch



参加申込

主催: 公益財団法人セゾン文化財団

※「助成事業に係る広報活動やネットワーク構築」の一環として本報告会を実施します。

登壇者プロフィール／Profile



© Julie Folly

エリザ・リープシュ／Elisa Liepsch (ベルギー／スイス)

Festival Belluard Bollwerk ディレクター、ドラマトルク、プログラマー

2019年から2024年まで、Beursschouwburg(ブリュッセル)のパフォーミングアーツ部門で責任者をつとめる。また、ムーゾントウルム(フランクフルト)では、「Afropean Mimicry & Mockery in Theatre, Performance & Visual Arts」(2014-2016)や「im*possible bodies (2018-2019)」などを企画。フェスティバル・テアターフォルメン(ブラウンシュバイク)では、モザンビークや南アフリカ、ナイジェリアのアーティストとのレジデンシー・プログラムを開発した。2010年から2013年にはワイマール国民劇場(ワイマール)のドラマトルギーチームに所属。2010年の世界演劇祭(ルール地方)で、その芸術監督を務めたフリー・レイセンとともに働いた経歴を持つ。

2024年10月、Festival Belluard Bollwerk(フリブール)のディレクターに就任。



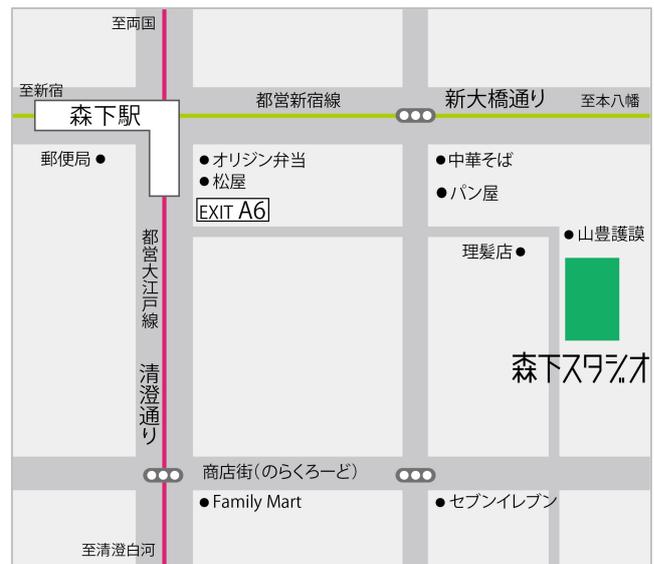
「In Harm's Way」(2023)より Carolina Mendonça によるパフォーマンス『Zones of Resplendence』の様子 (Carolina Mendonça と Lara Ferrari)

©Mariana Machado

■森下スタジオへのアクセス

地下鉄都営新宿線 都営大江戸線「森下駅」A6 出口徒歩 5 分

東京メトロ半蔵門線 都営大江戸線「清澄白河駅」A2 出口徒歩 10 分



■セゾン・アーティスト・イン・レジデンス

セゾン文化財団では1994年から東京・江東区の森下スタジオを拠点に滞在型の芸術創造支援や日本の芸術文化の研究支援プログラムを支援しています。2011年から2015年に「レジデンス・イン・森下スタジオ」を実施。その成果を踏まえ、2016年から海外の芸術家や芸術団体等との双方向の国際文化交流の活性化を目的とする「セゾン・アーティスト・イン・レジデンス」を実施しています。

主催：公益財団法人セゾン文化財団

※「助成事業に係る広報活動やネットワーク構築」の一環として本報告会を実施します。